

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会スポット
- 3面 読者のページ/まんが/俳句
- 4面 筋トレ/ホットライン
- 5面 憲法講座/ホットライン
- 6面 サツマイモのレシピ/母の歴史
- 7面 新婦人の活動/談話/訪問介護の現場から



このままでは米農家がいなくなる!?

今こそ消費者と生産者の共同つよめ打開へ

農民運動全国連合会(農民連)会長 長谷川敏郎さんに聞く



不安にかられる農家

「高市政権の鈴木新農水大臣は、「米の価格には関与しない」と言いました。が、

主食の米の高値がつかずのほななせ? 米農家は どうなっている? 米価の安定には何が必要? など、農民運動全国連合会(農民連)会長の長谷川敏郎さんに聞きました。

長谷川 8月に石破前首相が「増産に舵を切る」と言い、小泉前大臣は「安い米を流すぞ」とどんでん儲蓄米を放出しましたが、小売価格は高止ま

り、現在、新米など米が動かず、先行きの米価は暴落かという事態が発生しています。高市新政権は「需要に応じた生産」の名で農家に自己責任を押し付け、相変わらず大規模化とスマート農業(デジタル化)などの推進を押し付けています。12月末までに各道府県

お米が高いので消費もちょっと減り始めている。このまま減っていくと本当に大暴落になってしまいます。そうするともう作らないという農家が一気に広がる。いま米作りができる人たちが「あと5年くらいがんばってみるか」と話しているのが、来年、再来年でガクンと減る危機感があります。米農家は2000年の17.5万戸から24年の53万戸まで激減、農家の6割近くが70歳以上です。

減産と市場任せの結果

「改めて、「令和の米騒動」はこうして起きたのですか。」

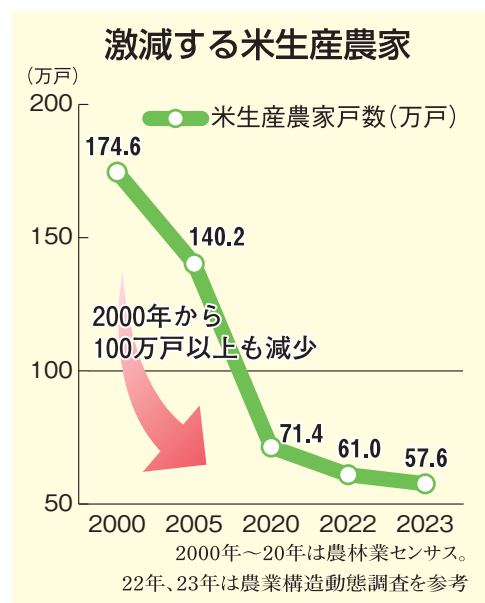
長谷川 コロナ禍でお米がたまったの20万ト余って価格が大暴落した。それを受けて政府は、お米が今後も余るから生産を減らせと、2021年、22年に大減産を押し付けたことで、結局50万トもの米不足を招きました。ギリギリで生産する、絶えずそのリスクを負う市場任せの政策がそもそも間違っています。去年から今年、お米を手に入れようとJA(農業協同組合)も大手集荷業者も、1俵(60kg)の買い取り価格が3万円超の集荷競争になり、新米5kgの小売価格が税込み5000円前後になる異常事態がつくられています。

最大の問題は、政府が「消費は減るからもう米を作るな」という政策を取っていること。農水省は、今は700万トの米が341円/kgを払っても国産米より安く売って儲けています。年間需要700万ト中4万トとほんの少しですが、市場に与える影響は大きいと思います。

お米までアメリカに明け渡す

「トランプ関税でお米はどうなっていますか。」

長谷川 大手スーパーのイオンがカルロース米の輸入・販売をPRする記者会見をわざわざアメリカ大使館でやり、関税額



田植えをする長谷川さん



来年度の「生産目安」が出ますが、増産が減産か、実際に作っても値段がどうなるか全く見えません。今年の米価が上がったことで、「やっと一息つけた」という思いが農家の一部にはあり、がんばって農機具を更新している人もいます。しかし、米作りは、短期的な価格の上がり下がり左右されず、5年、10年、15年先まで本当にやり続けられるのかどうかです。農民はこれまで以上に不安にかられています。

〈2面へ〉

